

都立光丘高等学校 令和7年度（3学年用）教科

教科：国語 科目：文学国語

対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：（『文学国語』 東京書籍）

国語 科目 文学国語

単位数：2 単位

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようとする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつける。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようとする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようとする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
		話	聞	書					
単元 II部 1 隆筆 1 【知識及び技能】 (1) 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 (1) (i) 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を書き語彙を豊かにすること。 (2) (i) 文字と文脈の関係を踏まえ、別の表現がないかグループで話し合い発表する。 ・教師 「自由から旅立って」 その他関連資料	指導事項 全文を通読する。 内容にそって本文を段落に分ける。 筆者のルートと経験をふまえて、筆者の言語感を読み取る。 言葉によって心情が細分化されることを読み取ったうえで、現代若者語にについて別の表現がないかグループで話し合い発表する。	○	○	○	【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を書き語彙を豊かにしている。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。 B (i) 作品の意味や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	9
定期考査		○				○	○		1
単元 II部 7 評論 【知識及び技能】 (1) (i) 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 (1) (i) 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を書き語彙を豊かにすること。 (2) (i) 文字的文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を使うこと。 (2) (i) 文字的文章を読みこころを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 (2) (i) 人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 B (i) 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。 B (i) 読み手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評議すること。 B (i) 作品が成立しているもの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	指導事項 全文を通読する。 段落分けをし、段落ごとに要約を行う。 本文の内文を踏まえた上で、関連教材の小説を読み、筆者の自信と人称で書かれているキャラクターとが必ずしも同じ性格ではないことを読み取る。 ・教材 「演技する「私」」「恥」 その他関連資料	○	○	○	【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を書き語彙を豊かにしている。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章の特徴における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解している。 ・文字的文章を読みこころを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評議することを通じて、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・語り掛く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話題合おうとしている。	○	○	○	15
定期考査		○				○	○		1

2 学 期	単元 II 部2 小説1 【知識及び技能】 (1) (7) 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 (1) (8) 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を書き語彙を豊かにすること。 (1) (9) 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を使うこと。 (2) (7) 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 (2) (8) 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 (1) (7) 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを確実に選ぶこと。 (1) (8) 文の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察すること。 (1) (9) 作品の中身や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 作者について基礎知識を得る。 本文を通して初詠の感想を書く。 「不吉な地」がどのようなものか確認し、それによる「私の変化」を読み取る。 「桜櫻」を手に入れることによっておこる「私」の心情変化を読み取る。「桜櫻」を桜井に見立て以前の「私」が好みだ店に読み付けることで豪華を批評しようとしていることを読み取る。 初詠と授業を受けてからの感想の変化を比較し、グループで共有する。 ・教材 「桜櫻」 その他関連教材	○	【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を書き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを確実に選んでいる。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って作品に込められた寓意について、自分自身の生き方や考え方につなげながら文章にまとめようとしている。	○ ○ ○	13
	定期考査		○	【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を書き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って作品に込められた寓意について、自分自身の生き方や考え方につなげながら文章にまとめようとしている。	○ ○ ○	1
3 学 期	単元 II 部3 詩歌 【知識及び技能】 (1) (7) 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 (1) (8) 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を書き語彙を豊かにすること。 (1) (9) 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を使うこと。 (2) (7) 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 (2) (8) 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 (1) (7) 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを確実に選ぶこと。 (1) (8) 文の構成や展開、表現の特色について評価すること。 (1) (9) 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 詩の基礎知識を学び、それぞれの詩の表現の特徴と表現効果を理解する。 読み取った情景、心情をもとに、深く味わう。 詩の鑑賞を通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・教材 「夏の姿」「帰途」「小諸なる古城のほとり」 その他関連資料	○	【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を書き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを確実に選んでいる。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って、人間の生死について考え、まとめようとしている。	○ ○ ○	13
	定期考査		○	【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を書き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを確実に選んでいる。 ・「読むこと」において、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合おうとしている。	○ ○ ○	1
合計						60